

北陸地方整備局入札監視委員会事務局
資料配付

配布日時 平成29年 3月28日
配布をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第一部会第4回定例会議を開催しました
— 審議概要を公表します —

(※1)

(※2)

北陸地方整備局入札監視委員会の平成28年度第一部会の第4回定例会議を平成29年3月7日に北陸地方整備局で開催しました。

平成28年度第3四半期発注工事等の中から委員会が抽出した11件の事案に関し、競争参加資格の設定や競争入札に係る指名の理由・経緯等について審議を行いました。

- ※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。
- ※2 第一部会（港湾空港関係事務以外を担当）及び第二部会（港湾空港関係事務を担当）においてそれぞれ四半期毎に開催しています。

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ

問い合わせ先

新潟市中央区美咲町1-1-1（〒950-8801）電話025-280-8880（代表）

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp>

北陸地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 小柳 俊彦（会議の運営）
契約管理官 小高 充信（別紙 1 入札・契約手続きの運用状況についての(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、抽出事案の審議についての(役務の提供等及び物品の製造等)）
技術開発調整官 鈴木 和弘（別紙の上記以外）

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第4回定例会議） 審議概要

開催日及び場所	平成29年3月7日（火） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
委員 (部会委員 5名、出席4 名)	部会長 鹿田 正昭（金沢工業大学 副学長（教育支援担当）） 部会長代理 土屋 武（新潟大学 法学部 准教授） 委員 二岸 直子（弁護士） 委員 馬場 健（新潟大学 法学部 教授） 委員 細山田 得三（長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 教授）【欠席】					
審議 対象期間	平成28年10月1日～平成28年12月31日					
報告事項	1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 平成27・28年度 有資格業者登録状況					
審議事項	抽出事案11件（工事6件、建設コンサルタント業務等3件、役務及び物品2件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額 (千円)	入札 者数
工 事	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定 適用対象工事)	石川運輸支局(16)建築その他 工事	(株)安藤・間	H28.12.13	1,468,800	12
	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定 適用対象工事以外)	H28片山津養浜その2工事	石川建設工業(株)	H28.11.7	70,092	3
		水門ゲート設備修繕工事	(株)エステック	H28.10.25	13,068	3
		信濃川下流熊森揚水機場外新設 工事	(株)福田組	H28.12.16	349,704	3
		阿賀野バイパス 小里川2号橋 下部その2工事	(株)植木組	H28.11.4	196,560	10
		国道253号八箇峠トンネル消火栓 設備設置工事	(株)ミゾタ	H28.10.13	158,328	3
建設コンサル tant業務等	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	平成28年度阿賀野川堤防強化対策 検討業務	パシフィックコンサル タantz(株)	H28.10.20	22,788	8
		平成28年度燕地区用地調査等(そ の1)業務	(株)アルゴス	H28.12.8	36,904	11
	簡易公募型プロポーザル 方式	平成28年度北陸地方整備局管内 冬期道路気象予測情報配信業務	(一財)日本気象協会	H28.10.12	26,968	1
役 務 及び物品	一般競争入札方式	行政情報システムセキュリティ監 査業務	(株)ブレインワー クス	H28.12.20	1,804	4
		平成28年度ラジコンヘリによる斜 め写真撮影作業	(株)明和	H28.11.1	956	6
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
(備 考)						

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等（第一部会第4回定例会議）

意見・質問	回 答
<p>1 入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>(1) 入札方式別発注工事一覧及び入札方式別発注建設コンサルタント業務等一覧並びに入札方式別発注役務及び物品の製造等業務一覧</p> <p>・役務契約で落札率が他の案件に比べ非常に低いものがあるが、予定価格の設定等に問題はないのか。</p>	<p>・積算基準がないものは見積もりを取り、予定価格はそれを基に予定価格を積算している。応札者のお考えとしか言えない。</p>
<p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <p>・地盤改良工事での施工不良だが、他機関での工事でも施工不良が発覚したので、北陸地方整備局発注の工事でも調査した結果ということか。</p> <p>・指名停止期間は規定どおりだと思うが、手抜き工事をされると人の命に関わる訳で、一般的な感覚からするとこういう会社は辞めてもらった方がいい位で、指名停止期間が少ないのではないかという気がする。</p> <p>・砂防工事のコンクリートの代わりに石を投入したとのことだが、コンクリートで埋め戻すと外からは分からないと思うが、どういう状況で判明したのか。</p>	<p>・この者が行った工事全てを調査した結果、当整備局の工事でも施工不良が発覚した。</p> <p>・外部からの指摘により判明した。</p>
<p>(3) 談合情報等の対応状況</p> <p>・特になし。</p>	
<p>(4) 再度入札における一位不動状況</p> <p>・特になし</p>	
<p>(5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度対象工事の発生状況（平成25年度～27年度）</p> <p>・特になし。</p>	
<p>(6) 平成27・28年度有資格業者登録状況</p> <p>・特になし</p>	

意見・質問	回 答
<p>2. 抽出事案の審議について (工 事) (1) 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外) H28片山津養浜その2工事</p> <p>・ 2者が低入札だが、どれ位調査基準価格を下回ったのか。</p> <p>・ 低入札価格調査について見直しを行っているが、特に今年度低入札で無効というケースが増えたように感じるが、どういう印象を持っているか。</p>	<p>・ 2者とも予定価格に対して、ほんの僅か調査基準価格を下回った。本件は材料を購入し、養浜する比較的単純な作業で、結果として材料費の計上の違いや一般管理費の考え方の違いなどの結果と推測している。</p> <p>・ 抑止的な話として調査基準価格の率を引き上げて低入札を防止していこうという観点で行っているだけであり、基本的に増えているということはないと思う。年間の工事件数などにもよると思われ、増減は不明であるが、今後、傾向を見ていきたい。</p>
<p>(政府調達に関する協定適用対象工事) 石川運輸支局(16) 建築その他工事</p> <p>・ 書類不備で無効となった者がいるが、どんな書類が不備だったのか。また、足りない書類に対して、再度、不備を補うことを認めることはあるのか。</p>	<p>・ 入札参加時に確実に履行できるという確認申請書を提出することとなっているが、その書類が提出されていないことから無効としたもので、公平性から改めて提出はできない。</p>
<p>(政府調達に関する協定適用対象工事以外) 水門ゲート設備修繕工事</p> <p>・ 落札者と一番高く札を入れた者とは、金額に大きく差があるが、要因は分かるか。</p>	<p>・ 工種別にポンプの開閉装置更新と分解整備があるが、分解整備の部分で乖離が大きかった。理由としては、近年既設の開閉装置の分解の実績がないことから標準歩掛かりが整備されていないため、歩掛り調査を行い積算に反映し、仕様条件等を公告時に見積参考資料として明示したが、各者から質問はなく、コスト管理における独自の判断で金額を算定したものと推測する。</p>
<p>信濃川下流熊森揚水機場外新設工事</p> <p>・ 特になし。</p>	

<p>阿賀野バイパス 小里川2号橋下部その2工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案の点数が落札者と一番点数が低い者で相当の点数の開きがあるが、どの辺で差が出たのか。 ・先ほども低入札の話があったが、本件も多くの者が低入札であり、価格設定の問題ではなく、たまたまそういう状況になったと理解していいか。 ・何か低入札だと悪いような印象を受けるが、そうではなく、非常に正しい値を皆さんで争っている、厳密に皆さんが競争をした結果として、このようになりやすい場合があると理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価点は技術提案の内容、企業の施工能力、配置予定技術者の施工能力と大きく3つに分かれているが、ご指摘の点数が低い者は企業の過去の受注実績、あるいは配置予定技術者も当整備局の施工実績がないことから、工事成績等が0点となり、結果的に差が大きく開いた。 ・価格設定の問題ではなく、競争のため予定価格と調査基準価格の範囲の間で、なるべく安価に入札するケースも工事によってはあると感じている。
<p>国道 253 号八箇峠トンネル消火栓設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加確認資料の施工実績ないしは工事経験に高速とか東日本高速道路の実績があって、他の案件だと民間と書かれていることが多いと思うが、道路に関わる工事だから高速道路等の実績があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネルの中に消火栓を設置するという特殊な工事の実績であり、国土交通省発注の工事実績を縛っていないことから、自治体や高速道路の実績でも工事実績として認めているものである。
<p>(建設コンサルタント業務等) (1) 簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） 平成 28 年度阿賀野川堤防強化対策検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>平成 28 年度燕地区用地調査等（その1）業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名結果表で、非指名の4者は他者が優位ということで非指名となっているが、合計点数によってボーダーライン等何か基準のようなものがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注する段階で指名するのは10者程度という基準を入札公告で明示しており、企業や予定技術者の評価の合計点により評価を行った結果、本件は10番目の点数の者が2者おり、11者指名としている。非指名については、その理由をそれぞれ評価項目の中で他者と比べ劣っている部分を説明し、通知することとなっている。

<p>(2)簡易公募型プロポーザル方式 平成28年度北陸地方整備局管内冬期道路気象予測 情報配信業務</p> <p>・ 前回もプロポーザル方式について、なぜ落札率が100%にならないのかという話をしたが、諸般の事情で単価が下がったり100%にならないこともあるというご説明を頂いたが、本件も100%ではなく、契約締結に至る流れの中で、技術提案書の特定からどの段階で金額が決まるのか。</p> <p>・ 本件は気象関係なので日本気象協会は妥当だと思うが、資料を入手した者が複数者いるが、広域で気象をやれるのは日本気象協会だけではないかと思うがどうという者が資料を入手されたのか。</p>	<p>・ 本件については、当然見積もりの歩掛かりを参考に積算しているが、諸経費や旅費交通費等は国土交通省の積算基準に基づき積算しており、そこで差が出たものと推測している。</p> <p>・ NHKだと日本気象協会が多いと認識しているが、ウェザーニューズやウェザーマップなど気象業務上の気象予報士の資格を持って登録している者は相当数いる。昨年度は2者参加していたと記憶しているし、高速道路会社は日本気象協会ではないと聞いている。</p>
<p>(役務の提供等及び物品の製造等) (1)一般競争入札方式 行政情報システムセキュリティ監査業務</p> <p>・ 特になし。</p>	
<p>平成28年度ラジコンヘリによる斜め写真撮影作業</p> <p>・ 非常に低い価格で落札しているが、一般的に撮影しただけで納品すると地図と合わないためオルソ画像化するとか、他者がそのような解析を入れて高く積算していることはないのか。</p>	<p>・ オルソ画像化や解析を行うものではなく、斜め写真撮影をアングルと画像で求めているもの。歩掛りについてはこの仕様により参加者から見積を徴収し、予定価格に反映している。</p>